

桜木町 避難道路の桜の木についての提案書

今後5年後を考えますと桜木町の人口構成は、65歳以上のいわゆる高齢者の割合は50%を超えることは目に見えています。

それは、避難道路が出来ても、歩くのに難儀する人が多くなるということにもなります。

日頃から避難道路を歩くように対策をしておかなければ、せつかくの避難道路が「いざ」というときに避難道路ではなくなってしまいます。

このようなことを考えたときに、避難道路に植栽する予定でいる桜の木に、桜木町住民の名前をつけて、管理と避難道路を歩かせるように出来ればと思います。

- 1 名を入れる材料は、広場の花壇を作ったときの間伐材とする。
- 2 簡単に書けるマジックでいい。
- 3 全体の把握は、当方(花道プロジェクト、澤口)
- 4 植栽後2年を見て、そこで管理は終わるか否かを考える。
(平成27年になるはず。)

平成24年8月10日(金)

提案者 澤口 勝美